



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003 年 3 月 12 日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,

MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,

チャーターナイト 2003 年 5 月 10 日 PHONE 0555-84-4233

2021年 富士五湖クラブ 8 月ブリテン 第 202 号

会長 後藤昭子
副会長 原 俊彦
副会長 望月 勉
書記 後藤明久
会計 望月喜代子
会計 武藤五子
直前会長 望月喜代子

国際会長：キムサンチェ(韓国)

「世界と共にワイズメン」

アジア太平洋地域会長：大野 勉(神戸ポート)

「100 年を超えて変革しよう」

東日本区理事：大久保知宏

「私たちは次世代のために何ができるか？」

あずさ部長：長谷川あや子

「道を拓く～愛と協力によって」

富士五湖クラブ会長：原 俊彦

『何があっても元気で楽しく！！』



8 月第 1 例会

2021 年 8 月 2 日(金)PM19 時 30 分～

於：ふれあいセンター

開会点鐘 原 俊彦会長

議事

ニコニコスピーチ

閉会点鐘 原 俊彦会長

富士山 8 合目 影富士

7月キックオフ例会報告

2021年7月2日 19時30分～ハイブリッド
於：ふれあいセンター
参加者；後藤2、原2、望月(喜)、武藤+まきちゃん
Zoom；望月、須藤

acco 会長から原新会長にバッジの引継ぎが行われました。

acco 会長、1年間お疲れさまでした！原新会長、1年間よろしくお願いします。



《議事》

*7/31 納涼例会について

原別荘 16時集合

*7/17 あずさ部評議会 13:00～14:30

原会長はリアル参加。後藤2、望月は zoom

*9/25-26 富士山例会について

7/17 の評議会でアピールする。ワイズドットコムに流す。

あずさ部長公式訪問の予定。

コロナ禍でスバルラインの閉門時間が例年より早くなるため今年は開始時間を早めたほうがいい。12:00 例会 13:00 バーベQ

車の乗り合わせについてもコロナ禍にあるので自家用車で来てもらうか路線バスを利用してもらう。

馬返しからの登山は今年はなし。

ご来光ツアー、オプションツアーは実施する。

オプションは船津胎内と世界遺産センター

*11/27-28 伊東 DBC 移動例会

ホテルを早めに予約する→acco

見学場所は須藤メンにお任せする。

候補として大室山・城ヶ崎海岸。ジオパーク知人ガイドをお願いしておく。

定刻になり使用した場所のアルコール除菌消毒を各自行い終了。

7月のデータ

会員数	11名
例会出席	9名
コメント	1名
	82%

今月のハッピーバースデー

今月のハッピーバースデー&
アニバーサリーはありません。

7月納涼例会

原俊彦会長

7月31日(土曜)の夕方、夏・恒例のバーベキュー例会が拙宅で行われました。

これまで一桁だった山梨でのコロナ感染者も首都圏の急激な感染増の影響を受け、前日は30名とこれまでの記録を更新するなど「拡大真っ只中」での開催となりました。

その為、今回はお互いの感染を防ぐため、家族毎に島を作って出来るだけ間隔を空ける事と、会話の際は出来るだけマスクを着用する様お願いしました。

夕方4時スタートのところ、早くも3時過ぎには望月さん夫妻が長机、コンロ、ボンベなどのバーベキュー器具一式を携えて到着、ベランダにセッティングしてくれました。

後藤さん夫妻、武藤さん、まきちゃんも到着、合計8名での賑やかな会食となりました。

美味しい肉、海鮮それに新鮮な野菜も加わって皆さんの旺盛な食欲に火が付き、次から次へと胃袋に消えて行きました。

同時にお酒の方もピッチが上がり、望月さん持参の一升瓶がすっかりカラになった所でお開き・・・賑やかな宴の後に腰が立たず、グッスリ寝込んだメンバーが一人残されていました。



望月勉

7月31日、8月第1例会が、原さん宅で毎年恒例のバーベキュースタイルで行われました。コロナ対策として、席の間隔をあけ、家族単位でテーブルに座りました。

海拔1200メートルにある高原の家は大変涼しく、日が沈むと半袖では寒いくらいでした。出席者が8名と、いつもより少なかったのが残念でした。久しぶりに会員の元気な顔を見ることが出来、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



あずさ部第一回評議会

会長 原俊彦

7月17日(土)、第一回あずさ部評議会が山手YMCAで行われました。

一年半経過しても未だコロナの行方を見通せない中での開催のため、zoom参加者と併合した形でのスタートとなりました。

開催地が東京、皆さんとも暫く直接お会いしていない事もあり、ワクチン2回も済ませた安全(?)な身を引っ提げ山手Yに足を運びました。

懐かしの面々と元気な挨拶を交わした後、zoomの大画面を前に評議会が始まり用意された4つの議案は滞りなく承認されました。

富士五湖クラブの会長方針では、昨年実施出来なかった「富士山例会」の再開と「伊豆高原での初めてのDBC交流」をアピールしました。

久しぶりの都心は事他暑く、駅からセンターまでの遠かった事・・・本当に途中倒れるかと思いました。一日も早くマスクが外せる日常が戻って来るのを願っています。



富士五湖参加者 原会長

Zoom:後藤2、望月(喜)

《山梨 YMCA だより》

〈生きる力を育む〉

山梨 YMCA 総主事 露木淳司

夏休みのプログラムが始まりました。学童保育や発達支援の子どもたちが早朝から大勢来て、とても賑やかです。毎日、日替わりのスペシャルプログラムを楽しんでいます。そして、夏休みならではのプログラムと言えば、キャンプです。今年は控えめに一泊二日を2本企画しました。合わせて45名の子どもたちが参加します。もう一つの夏休みの定番「わいわい地球塾」には23本のプログラムに延べ365名の子どもたちの予約が入っています。半分以上のプログラムがキャンセル待ちになっています。ワイズの皆様からの支援をお受けしていたフクロウキャンプについては残念ながら今年も中止とさせていただきます。

コロナ禍で募集活動は自粛、例年行っていた県下の小学校への案内書配布を控え、現在の会員と過去2年の参加者のみに案内書をお送りしただけでした。にもかかわらず、口コミとホームページからの情報を得て、初めての参加者もたくさん集まりました。つまり一般公募はほとんどしなかったのにいっぱいになった。この現象は一体何を意味するのでしょうか？

コロナの感染は収まるどころか、悪化の一途をたどっています。ところが保護者の皆様は、子どもたちにアウトドアの体験をさせたい、と思っているということです。去年は企画自体、自粛してしまいましたが、今年はコロナ対策を万全にして敢えて募集することにしました。キャンプは、自然体験だけでなく、同時に社会体験、生活体験を可能にします。子供たちの生きる力を育む貴重な教育活動なのです。世の中全体が、イベントの中止や施設の閉鎖が相次ぐ風潮にある中で、適切な対策を講じて、勇気と自信を持って、子どもたちに貴重な体験学習の場を提供する。困難に立ち向かう姿勢を示すことが功を奏したと言えるでしょう。

この夏、何としてもこうした保護者と参加する子どもたちからの期待に応えたい、と願います。そして何とか夏が終わった時に、やってよかったと思えるように、細心の注意を払いつつ、最善を尽くします。